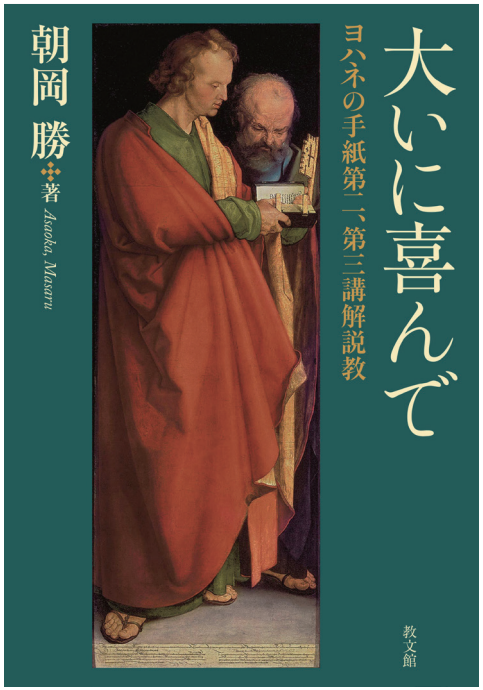
大いに喜んで

ヨハネの手紙第二、第三講解説教

朝岡 勝✣著



説教とは愛の手紙である!

「私はあなた（あなたがた）を本当に愛しています」と始まる二つのヨハネの手紙。コロナ禍であえぐ教会に愛を注ぎ込んで語った説教９編を収録。

現在、東京キリスト教学園理事長・学園長として全国の教会で奉仕する著者が、日本同盟基督教団徳丸町キリスト教会の牧師として最後に語った講解説教集。

付論「語られ、聴かれ、生きられるみことば――説教を巡る小さな論考」は、牧師と信徒が「説教」をめぐって対話をする最良の手引き。

✣著者紹介　朝岡 勝（あさおか・まさる）　1968年生まれ。東京基督教短期大学、神戸改革派神学校卒業。日本同盟基督教団西大寺キリスト教会、東岡山キリスト教会、徳丸町キリスト教会牧師を歴任。現在、東京キリスト教学園理事長・学園長、日本同盟基督教団理事長。著書　『〈あの日〉以後を生きる――走りつつ、悩みつつ、祈りつつ』、『ニカイア信条を読む――信じ、告白し、待ち望む』、『ハイデルベルク信仰問答を読む――キリストのものとされて生きる』、『増補改訂「バルメン宣言」を読む』、『剣を鋤に、槍を鎌に――キリスト者として憲法を考える』『喜びの知らせ――説教による教理入門』『光を仰いで――クリスマスを待ち望む25のメッセージ』（以上、いのちのことば社）、『教会に生きる喜び――牧師と信徒のための教会論入門』（教文館）ほか多数。

B6判・並製・160頁・定価1,980円（本体1,800円+税）　ISBN978-4-7642-6467-0　C0016